

1. 未来への希望を育む子育て・教育

(2) 小学校普通教室へのエアコン設置に向けて

①本市小学校のエアコン整備状況について

②普通教室へのエアコン導入に向けての課題や方向性について

【答弁】

それでは、「1. 未来への希望を育む子育て・教育」の(2)の①②については、関連しますので、一括してお答えいたします。

例年、地球温暖化の影響により猛暑が続く中、学校で過ごす子どもたちの健康を守り、より良い教育環境を整備していくことは、重要な課題となっております。

本市では、この間、小中学校のすべての普通教室に扇風機の設置やミストファンを導入するなど、夏の暑さ対策に取り組んできており、現在、全中学校において計画的に進めております普通教室へのエアコン設置が、来年度に完了する予定でございます。

一方、小学校のエアコン整備状況としましては、職員室や校長室、保健室などの管理諸室のほか、パソコン教室や図書室などの特別教室、また、必要に応じて支援教室に設置してまいりました。

更に、来年度には、全小学校の音楽室へのエアコン設置計画を進め、より良い学習環境の確保に努めているところでございます。

小学校普通教室へのエアコン設置につきましては、子どもたちの成長過程において体温調整機能や、忍耐力が落ちるといった懸念など、様々な議論があると聞いております。

しかしながら、大阪府内においてもエアコン設置を進める市町村が増えてきておりますことから、健康面や、より一層授業に集中して取り組める環境などを考えますと、中学校と同様に必要な設備と考えているところであります。

エアコンの導入にあっては、中学校と比較して普通教室数が2倍以上あること、初年度には受変電設備の大規模な更新が必要となること、校舎建物の配置から設備配線などの関係により、事業費は概算ですが約12億円と大きな費用が必要と考えております。

また、エアコン設置後の維持管理費用や設置順序などの課題もございます。中でも財源の確保が重要な課題であり、国における補助制度の活用は不可欠となることから、補正予算の積極的な活用など、財源確保に努めていく必要がございます。

教育委員会としましては、計画的に進めております屋内運動場非構造部材耐震化や大規模なトイレの整備など、引き続き取り組まなければならない事業も多くございますが、小学校普通教室へのエアコン整備につきましては、国の財政状況により補助金が不採択となる場合もあることから、国に対して、本市の事業が円滑に実施できるように補助事業の確実な採択、並びに補助率の拡充を図るよう要望するとともに、整備手法等も含め、中学校のエアコン設置完了後の早期導入に向けて、引き続き検討してまいります。